

診療情報を集めて行う臨床研究に関するお知らせとお願い

熊本機能病院では、九州大学大学院経済学研究院で実施されている「DPCデータを用いた患者別原価計算方法の開発と精緻化」の研究に協力しています。

研究の概要

日本では、これまで「出来高払い」という、実施した診療内容（入院基本料や検査、レントゲン、投薬、注射など）を積み上げる方法で入院医療費を計算していましたが、平成15年より、診断群分類（DPC）包括評価を用いた入院医療費の定額支払い制度が開始されました。DPCとは「Diagnosis（診断） Procedure（診療行為） Combination（組み合わせ）」の略で患者さんの診断群分類(病名)ごとに1日当たりの入院医療費が決められ、これをもとに計算する制度です。これまでの出来高支払から定額支払へ移行することによって、病院では実施した診療行為全てに対しては保険請求ができなくなり、病院経営の安定のため病院内部で原価（費用）管理の重要性が高まりつつあります。また診療報酬点数は厚生労働省によって点数が設定される公定価格であるため、診療報酬点数の設定に関して正確な費用情報を反映させる必要性も高まり、患者さんの診断群分類（病名）ごとに発生した費用を算出（原価計算）し、診療報酬点数との比較をすることで、収支計算を行える方法が求められています。この研究は、病院経営の安定のための内部管理への活用可能性と、収支分析の結果による科学的根拠に基づく診療報酬決定に資する原価計算手法が必要であると考え、全国共通形式のDPCデータを用いて、どの病院でも実施できるような一般化可能な原価計算方法を導き出すことを目的としています。その結果、患者さん別に費用を集計することができるため、同じ診断群分類（病名）の費用について、他施設との比較分析などが可能になると考えています。

対象となる方

平成 27 年 4 月 1 日以降に入院し、平成 27 年 6 月 30 日迄に退院した保険請求対象の方

研究期間

平成 29 年 9 月 8 日 ～ 令和 3 年 3 月 31 日（研究終了日）

利用する診療情報

- ・ E F 統合ファイル（診療行為明細情報）
- ・ D ファイル（包括診療明細情報）
- ・ 様式 1（FF 1 ファイル 診療録情報）
- ・ 様式 4（FF 4 ファイル 保険診療情報）

研究機関の名称：九州大学大学院経済学研究院

研究責任者氏名：専門研究員 水野真実

共同研究者：九州大学大学院経済学研究院 教授 丸田起大

下関市立大学経済学部 准教授 足立俊輔

個人情報の取扱いについて

診療情報の利用に関しては、個人情報全てをお名前など個人が容易に特定できる情報はわからないよう処理して提供し解析されますので個人情報が漏れることはありません。また研究結果は、学術雑誌や学会等での発表に使用させて頂くことはありますが、その際も個人の特정이可能な情報はすべて削除いたします。

上記の研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づき実施しております。この研究にあなたの診療情報が利用されることに同意できない場合は対象と致しませ

るので、お手数ですが下記のお問い合わせ先にご連絡ください。また、ご不明な点があるとき、または研究計画等に関する資料をお知りになりたい場合は他の対象者の個人情報や研究全体に支障となる事以外はお知らせすることができますので、ご連絡ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用させていただくことに対して同意が得られたものとさせていただきます。また、研究にご協力いただけない場合でも診療上の不利益を被ることはありません。

お問い合わせ先

九州大学大学院経済学研究院 専門研究員 水野真実

TEL : 092 - 802 - 5454